

「第7回モバイル広告大賞」受賞作品決定

～表現力、企画力のレベルが一段と向上～
優秀賞3作品、入賞12作品が受賞

株式会社ディー・ツー コミュニケーションズ(社長:藤田明久、本社:東京都港区、以下 D2C)が主催する「第7回モバイル広告大賞」の受賞作品が決定いたしました。

「モバイル広告大賞」は、世界でも最先端をいく、モバイル先進国「日本」が発信するモバイルに特化したもっとも歴史のある広告賞として、今年で開催7年目を迎えました。この度、「モバイル広告大賞」では、モバイルマーケティングの市場拡大に伴い、部門構成を一部見直し、「アド・クリエイティブ部門」、「キャンペーンサイト部門」、「マーケティング部門」の3部門に分けて、広く作品を募集いたしました。また賞の構成も見直し、グランプリ、優秀賞、入賞の三つの賞を選出いたしました。

受賞作品は下記の通りです。

【グランプリ】 該当なし

アド・クリエイティブ部門

- 【優秀賞】 「平日アフター6 物語」 (株式会社リクルート)
- 【入賞】 「GPS RUN」 (adidas Japan 株式会社)
- 【入賞】 「ショコイスト パール」 (ゴディバ ジャパン株式会社)
- 【入賞】 「旅割」 (全日本空輸株式会社)
- 【入賞】 「シャッター型バナー」 (株式会社デジマース)

キャンペーンサイト部門

- 【優秀賞】 「牛乳甲子園」 (社団法人 中央酪農会議)
- 【入賞】 「ペプシネックス モバイルスペシャルサイト」 (サントリー株式会社)
- 【入賞】 「Fashion, Music, Vidal Sassoon」 (P&G Japan)
- 【入賞】 「三代目鼠小僧」 (フェリカネットワークス株式会社)
- 【入賞】 「R25 式×映画『300』 スパルタ式男魂に挑戦！」 (ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社)

マーケティング部門

- 【優秀賞】 「モバイル発!! 「クノール® スープパスタ」商品開発プロジェクト」 (味の素株式会社)
- 【入賞】 「オトノリ」 (東日本旅客鉄道株式会社)
- 【入賞】 「REC YOU」 (ソニーマーケティング株式会社)
- 【入賞】 「プチダノン オリジナル絵本プレゼントキャンペーン」 (ダノンジャパン株式会社)
- 【入賞】 「ロナウジーニョへの道」 (株式会社ナイキジャパン)

作品の選考は、広告及びマーケティング分野における著名な 6 名の選考委員で構成された「モバイル広告大賞選考委員会」(別紙参照)にて厳正なる審査を行いました。

< 嶋口充輝選考委員長の講評 >

本年よりモバイルをとりまく広告市場の拡大に伴い、部門及び賞構成を見直しての開催となった。全体的に見て、各部門の受賞作品は完成度の高いものが多く、従来の基本的な手法に加え、ユニークな新規内容と表現を盛り込んだ作品が印象的だった。その点で 2、3 年前の受賞作品に比べて今回の作品全体はアイデアや精緻さの点で格段にレベルが上がり、本格的なモバイル広告全盛時代に入った感がうかがえた。ただ、その分だけ、作品に対する審査員達の期待感も高かったこともあり、3 部門を統合する最優秀作品たるグランプリに値する受賞作は見送りになった。来年度は名実ともに唯一無二のグランプリに輝く優秀作品を期待したい。

今回の作品の傾向といたしましては、モバイルのツールとしての特徴とターゲットの特徴を正確に把握し企画に盛り込んだ作品が多く、ユーザはもちろん、そのユーザを取り巻く人をも楽しませることの出来る話題喚起・緻密性の高い企画が評価されました。

また、アド・クリエイティブ部門では端末の進化により、フラッシュによる表現力の高い作品など、限られたスペースの中でブランドの世界観がしっかり表現されるようになったという評価も寄せられました。

「第 7 回モバイル広告大賞」贈賞式は、7 月 17 日(木) に東京・港区「ANA INTERCONTINENTAL TOKYO」にて実施を予定しております。

別紙 1: 「第 7 回モバイル広告大賞」開催概要
別紙 2: 「第 7 回モバイル広告大賞」選考委員会

別添: 「第 7 回モバイル広告大賞」受賞作品一覧

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ディー・ツー・コミュニケーションズ

広報宣伝部 高橋・金

TEL: 03-6252-3108 FAX: 03-6252-3111

URL: www.d2c.co.jp Mail: press@d2c.co.jp



「第7回モバイル広告大賞」開催概要

「モバイル広告大賞」とは

「モバイル広告大賞」とは、モバイルを利用した広告コミュニケーション及びマーケティング活動の一層の普及を願い、2002年に創設され今年で7回目を数える、日本発のモバイル広告賞です。本広告賞では、携帯電話に実際に配信・掲載された広告を対象に、表現力・デザインに優れた作品や、モバイルを利用したマーケティング手法において優秀な事例を選出し、顕彰させていただきます。

選考対象

2007年4月1日から2008年3月31日までにインターネット接続機能付き携帯電話に掲出された広告・マーケティング事例。

部門構成

<アド・クリエイティブ部門>

ピクチャー広告、パネル広告、プッシュ型広告など、モバイル上に掲出された画像広告全般を対象とし、その表現力とデザイン性を評価します。

<キャンペーンサイト部門>

製品やサービスのキャンペーンや販売促進を目的としたモバイルサイト全般を対象とし、デザイン性やコンテンツ、ユーザビリティの視点で評価します。

<マーケティング部門>

モバイルの特性を活かしたマーケティング手法や、ブランド訴求、バイラル、ユーザとのコミュニケーションで新たな価値創造を築くなど、顕著な効果を上げたと考えられる事例を評価します。

「第7回モバイル広告大賞」選考委員会

(敬称略)

嶋口充輝 慶應義塾大学 名誉教授
秋山具義 有限会社デイリー・フレッシュ 代表取締役 / アートディレクター
恩蔵直人 早稲田大学 商学大学院 教授
杉山知之 デジタルハリウッド大学 学長 / 工学博士
田中里沙 株式会社宣伝会議 編集室長
宮崎光弘 株式会社アクシス アートディレクター / 多摩美術大学 情報デザイン学科教授

主催

株式会社ディー・ツー コミュニケーションズ

「第7回モバイル広告大賞」選考委員会

嶋口 充輝 (慶應義塾大学 名誉教授) □審査委員長

慶應義塾大学経済学部卒業後、フルブライト奨学生として渡米。慶應義塾大学、ミシガン州立大学の修士・博士課程修了後、経営学博士(Ph.D.)に。1987年より、現職。ルーベン大学(ベルギー)、ウエスタン・オンタリオ大学(カナダ)、モスクワ大学(ロシア)他の各大学院客員教授を歴任。主な著書:「仕組み革新の時代」(有斐閣)、Marketing Channels in Japan (The UMI Research Press)、戦略的マーケティングの論理(誠文堂新光社)、統合マーケティング(日本経済新聞社)、顧客満足型マーケティングの構図(有斐閣)、営業の本質(共著)(有斐閣)、柔らかいマーケティングの論理(ダイヤモンド社)、マーケティング革新の時代全4巻(共編著)(有斐閣)、マーケティング・パラダイム(有斐閣)など多数。

秋山 具義 (有限会社デイリー・フレッシュ 代表取締役/アートディレクター)

1966年東京秋葉原生まれ。1990年日大芸術学部卒。同年I&S入社。1999年デイリー・フレッシュ設立。2007年デイリー・フレッシュ・ストアオープン。主な仕事に、SHARP「エコロジークラスでいきましょう。」キャンペーン、キリンビバレッジ「アミノサプリ」パッケージデザイン、PARCO「PARCO CARD」キャンペーン、欽ちゃん球団「茨城ゴールデンゴールズ」ロゴ、キャラクターデザイン、立命館大学コミュニケーションマークデザイン、エン・ジャパン「転職は慎重に。」キャンペーン、ETC「スラスラスイスイスイ〜ッと ETC!」キャンペーン、蜷川実花写真集「永遠の花」装丁など。

ホームページ <http://www.d-fresh.com/>

ブログ:秋山具義のラーメンとデザイン <http://ameblo.jp/gugi/>

恩藏 直人 (早稲田大学 商学大学院 教授)

早稲田大学商学部を卒業の後、同大学大学院商学研究科へ進学。早稲田大学商学部専任講師、同助教授を経て、1996年より現職。専攻:マーケティング博士(商学)主要業績:『競争優位のブランド戦略』(日本経済新聞社)、『製品開発の戦略論理』(文一総合出版)、『マーケティング戦略』(共著)(有斐閣)、『コトラーのマーケティング・マネジメント』(監修)(ピアソンエデュケーション)、『戦略的ブランド・マネジメント』(共訳)(東急エージェンシー)、『日経文庫マーケティング』(日本経済新聞社)、『コモディティ化市場のマーケティング論理』(有斐閣)ほか論文多数。

杉山 知之 (デジタルハリウッド大学 学長/工学博士)

1954年東京都生まれ。87年よりMITメディア・ラボ客員研究員として3年間活動。90年国際メディア研究財団・主任研究員、93年日本大学短期大学部専任講師を経て、94年10月 デジタルハリウッド設立。

2004年日本初の株式会社立「デジタルハリウッド大学院」を開学。翌年、「デジタルハリウッド大学」を開学する。デジタルラジオ ニュービジネス フォーラム代表、福岡コンテンツ産業拠点推進会議会長を務め、また「新日本様式」協議会、CG-ARTS協会、デジタルコンテンツ協会など多くの委員を歴任。

99年度デジタルメディア協会 AMD アワード・功労賞受賞。

【著書】

「デジタル・ストリーム・未来のリ・デザイン」(NTT 出版)

「クール・ジャパン世界が買ったがる日本」(祥伝社出版)最新刊 '06.02

田中 里沙 (株式会社宣伝会議 編集室長)

1966年生まれ。89年学習院大学卒業後、広告会社を経て93年株式会社宣伝会議入社。雑誌「宣伝会議」編集部配属。企業宣伝部、広告会社担当記者、海外情報デスクなどを担当。95年副編集長を経て、96年より編集長、現在に至る。2003年より季刊誌「環境会議」「人間会議」編集長を兼任。全国広報コンクール・広報紙企画部門審査委員、民放連賞 CM 部門審査員、PR アワード(日本 PR 協会主催)審査員、広告電通賞テレビ部門・雑誌部門審査員、交通広告賞審査員などを務める。流行分析・情報系テレビ番組にコメンテーターとして出演。新聞にCM、テレビ番組についての連載を執筆。

宮崎 光弘 (株式会社アクシス 取締役 アートディレクター/多摩美術大学情報デザイン学科 教授)

1957年東京生まれ。東京造形大学美術学部卒業。ファッション誌のアートディレクションに携わった後、1986年、株式会社アクシス入社。同社のCI、デザイン誌「AXIS」のアートディレクション、展覧会企画など、さまざまなプロジェクトを行う。現在は同社のデザイン部門「AXISdesign」をプロデューサー&ディレクターとして統括する。WEB デザインとしては、「ORCA LIVE」「先見日記」(以上、NTT データ)、「原美術館」、「CELUX」、などの開発を行う。

1999年、モリサワ「人間と文字」CD-ROM で国際マルチメディアグランプリ「F@imp99ni」金賞、「AMD アワード」ベストビジュアルデザイナー賞を受賞。2007年、モリサワコーポレートサイトで 東京インタラクティブアワード コーポレートサイト部門銅賞を受賞。